

注意：静岡県立森林公園では動植物の採取は禁止です。



コシダ 小羊歯
(ウラジロ科コシダ属)
中軸が2又に別れ、
1対の羽片状の副枝
を出すのが特徴。
ウラジロよりやや
乾いたところ
にも生えます。
常緑性。

根茎を長く
伸ばして
群生する
丈夫な葉柄は
カゴ編みなどに
利用される

園内でいちばん
よく見るシダ
←2種→



ウラジロ 裏白
(ウラジロ科ウラジロ属)
大型のシダ。常緑性で冬も
青々とし、正月飾りにも使用。
中軸に、対になった
羽片をつけ、一年
に一段ずつ羽片
を出します。

あの有名な
山菜もシダ

ゼンマイ 薩
(ゼンマイ科ゼンマイ属)
大きな葉となる栄養葉と軸
の先に胞子嚢をつけた胞子
葉の二形です。夏緑性。



栄養葉



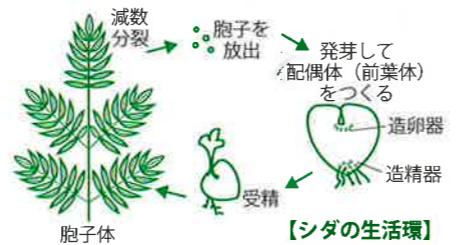
ワラビ 蕨 (コバノイシカグマ科ワラビ属)
3回羽状に切れ込む

明るい草原に多い。ワラビ粉は太い
根っこからとれるデンブンです。
胞子嚢群は偽包膜に覆われます。
夏緑性。



シダは
胞子体と
配偶体が
独立する

シダは種子をつくらず、胞子で繁殖します。
また胞子をつくる胞子体と、精子と卵をつくる
器官をもった配偶体（前葉体）が独立している
ことが特徴です。私たちがよく目にするのは胞
子体です。前葉体は小さくて目立ちません。



本号の執筆・編集にあたり井口裕氏、内藤宇佐彌氏に
ご指導いただきました。深く感謝申し上げます。

参考文献：「日本の野生植物シダ」岩槻邦男著（平凡社）、「日本産シダ植物標準図鑑」海老原淳著（学研プラス）
「写真でわかるシダ図鑑」池畠怜伸著（トンボ出版）、「くらべてわかるシダ」桶川修著 大作晃一写真（山と渓谷社）

ビジターセンター バードピア浜北

自然情報の発信、自然体験プログラムなどを通じて、静岡県立森林公園の自然の魅力を発信しています。
■入館料 無料
■開館時間 9:00~16:30
■休館日 毎週水曜（祝日の場合は翌日）（12/29~1/3）
■問合せ ☎ 053-583-0443

木工体験館

気軽に木工作を楽しむことができます。工具はそろっているので、手ぶらでどうぞ！
■木工作：金・土・日
■開館時間：9:00~16:30 初回利用時に「初心者利用講習」受講が必要です。
■休館日：月・火・水（12/29~1/3）
■問合せ ☎ 053-583-1559



初めての
シダ

シダはどれも同じに見えるという声はよく聞かれますが、
案外わかりやすい種もあります。

園内には実際に100種を超えるシダの記録があります。

まずは園内でもよく見られるシダから

親しんでみませんか？

特徴的な姿のシダ

形や名前が特徴的で覚えやすい
シダを見てみましょう。



上部の羽片
には胞子嚢群
がつく



下部の羽片は
裂片が長く伸び、
胞子嚢群はつかない

カニクサ 蟹草
(カニクサ科カニクサ属)

中軸が2mほどに伸びて
つる植物のような姿ですが、
これで一枚の葉。名
はカニ釣りをして遊んだ
ことに由来。夏緑性。



上部

下部



シシガシラ 獅子頭
(シシガシラ科シシガシラ属)

1回羽状に切れ込む
中心から広がる葉が獅子のた
てがみのよう。葉は平開する
栄養葉と直立する胞子葉の二
つの形があります。常緑性。



イノモトソウ 井之許草
(イノモトソウ科イノモトソウ属)

井戸周りでよく見られた
そうです。中軸に翼がある
のが特徴。栄養葉と、
縁が折れて胞子嚢群を巻
き込んだ形（偽包膜）の
胞子葉の二形。常緑性。



オオバノイノモトソウ 大葉の井之許草
(イノモトソウ科イノモトソウ属)

栄養葉と胞子葉の二形です。
中軸に翼はありません。常緑性。
(オオバノイノモトソウの写真：井口裕氏)

ゲジゲジシダ 蛭羊歯
(ヒメシダ科ミヤマワラビ属)

ゲジゲジのようなシルエット。
短い羽片の最下裂片が
中軸に流れるようにつき翼状となるのが特徴。夏緑性。



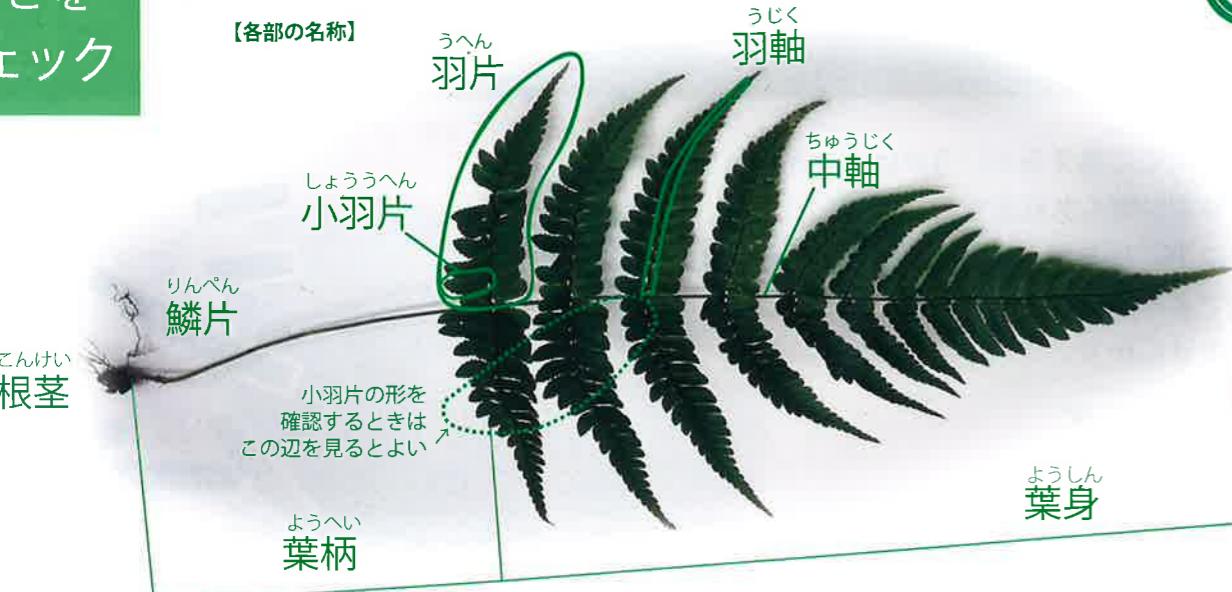
胞子嚢群に包膜はない

シダはここをチェック

シダは地上に出ている部分のほとんどは葉です。葉の厚みや光沢などもよく観察してみましょう。なかでも、胞子嚢群と包膜の様子をルーペで観察すると、違いがわかりやすいです。

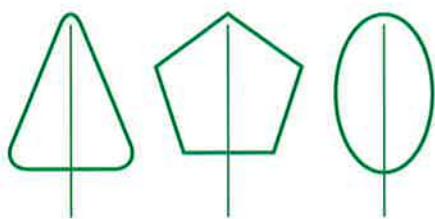
ルーペで
よく見て
みよう！

【各部の名称】



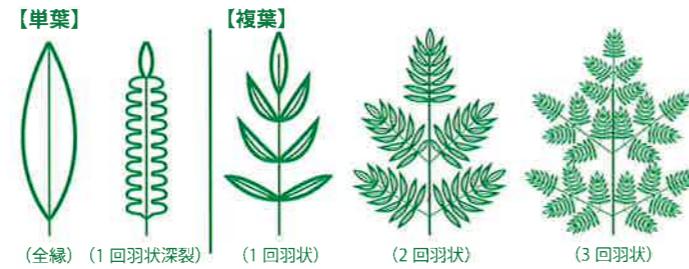
1 シルエットを見よう

まずは全体のフォルムの特徴を見てみましょう。
三角形、五角形、長橿円形等々があります。



2 葉のつきかたを見よう

単葉や羽状の様子を確認しましょう。

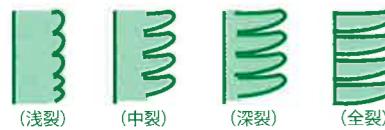


3 葉の細かい形状を見よう

羽片や小羽片の切れ込みの深さや、鋸歯の有無を確認しましょう。



【軸に対する切れ込みの度合い】



4 胞子嚢群・包膜を見よう

小羽片の軸に対する胞子嚢群の位置や胞子嚢群の形、包膜の有無や形はわかりやすい特徴です。
ルーペでしっかり確認しましょう。



5 鱗片・毛を見よう

特に葉柄基部の鱗片の色や形、密度、葉面の毛の有無や多い少ないも識別ポイントです。



幅広い形、細長い形など
さまざまな鱗片があります

6 根茎を見よう

根茎も種によってタイプがあります。



シダの見分けに挑戦！



ホシダ 穂羊齒
(ヒメシダ科ヒメシダ属)
2回羽状に切れ込む



包膜は円腎形。



小羽片基部の葉脈が隣の小羽片基部の葉脈とつながる。

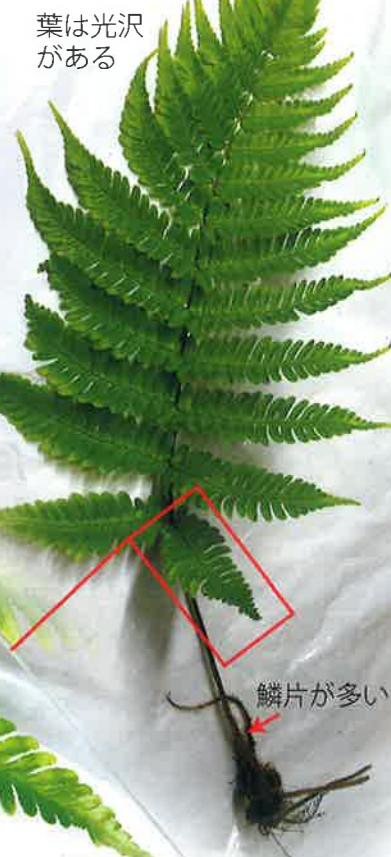
ベニシダ 紅羊齒
(オシダ科オシダ属)
2回羽状に切れ込む



若い包膜は紅色。
小羽片には浅い鋸歯があり、先は丸みがある。



羽軸上に袋状鱗片がある
最下羽片の下向き第一小羽片が二番目の中羽片よりも小さい



上部の羽片は
中軸に対し
斜め上の角度に
つくことが多い

ミヅシダ 溝羊齒
(ヒメシダ科ヒメシダ属)
2回羽状深裂



包膜は無い。胞子嚢群は細長く、葉脈に沿ってつく。胞子は熟すと黒くなる。裂片の中肋は中心をまっすぐ通る。

シケシダ 濡氣羊齒
(メシダ科シケシダ属)
2回羽状に切れ込む



包膜は細長く、全縁。
羽片は平べったく、
裂片の葉脈は
Y字状に見える。



下部の羽片は
ややまばらにつく
小羽片は
浅い鋸歯
がある



裂片は平面的。

根茎は
長くはう